

函館市観光アドバイザー会議の役割

(1) 函館市観光基本計画 2024-2028 の概要

《計画期間》

令和 6 年度から令和 10 年度（2028 年度）までの 5 年間

《5 年後の函館観光が目指すあるべき姿》

観光誘客による観光消費額の増加により、観光業の売上を増加させ、観光業を活性化させる。これにより、観光産業の振興が図られ、関連のある事業者へも直接的な効果があり、また、観光消費による経済波及効果や地域経済循環により、他産業にも売上の増加をもたらすほか、市民生活にも経済的な効果が波及している。

《基本理念》

観光の価値を高め、函館を照らす ～もう一回、もう一泊、もう〇〇～

《基本方針》

(1) 質の高い観光により観光消費額を向上させる

- 観光入込客数を増やすことだけを目的とするのではなく、函館の観光の価値を高め、観光客の満足度が高い、良質な観光の提供に主眼を移します。

(2) 観光の繁閑差を是正する

- 閑散期となっている下半期（10 月～3 月）の観光需要の喚起を推進し、観光事業者の経営の安定化や、オーバーツーリズムの抑制を図ります。

(3) 函館観光を盛り上げる人を増やす

- 函館市民が函館の観光に関わりを持ち、応援していただけるような、また一緒に函館観光を盛り上げる取組みに参加してもらえるような地域づくりを進めます。

(4) 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め、観光への市民理解を促進する

- 観光関連産業はすそ野が広く、観光消費が幅広い産業に好影響をもたらしていることを周知するとともに、好影響の効果をより高め、観光の重要性に対する市民理解の向上を促す取組みを進めます。

《目標値の設定》

基本方針で掲げた取組みの達成指標の目標値を下記のとおり設定します。

- (1) 平均宿泊数の増加 基準値 1.23 泊 ⇒ 目標値 1.48 泊
- (2) 平準化指数の改善 基準値 0.58 ⇒ 目標値 0.68
- (3-1) 函館観光に関わる取組みに「参加する」市民の増加
- (3-2) 家族や友人、知人に函館観光を「ぜひ勧めたい」と考える観光客の増加
- (4) 市民の観光への理解度の向上

(2) 函館市観光アドバイザー会議と計画の進捗管理

《設置目的》

函館市観光基本計画の推進にあたり、広く関係機関、学識経験者等の意見を反映させるため、函館市観光アドバイザー会議を設置する。(設置要綱第1条より)

《計画の進捗管理》



■函館市観光アドバイザー会議の役割

①計画の目標値に関すること

計画で定めた目標値の達成状況について、会議に対し市から定期的に報告を行い、会議では、進捗状況の確認、場合によっては目標値の見直しを行う。

②事業の推進に関すること

市から会議に対し、各年度の取組みについて概要の説明や実施結果の報告を行い、会議では、より効果的かつ効率的な事業の推進に向けた議論を行う。

市では、会議からの意見を受け、次年度事業の立案を行う。